

# service tcp-keepalives を使用してハングした Telnet のセッションをクリアする方法

Document ID: 14957

Updated: 2007 年 11 月 19 日

 [PDF のダウンロード](#)

 [印刷](#)

[フィードバック](#)

## 関連製品

- [非同期接続](#)

## 目次

[前提条件](#)

[はじめに](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[関連情報](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

## 前提条件

このドキュメントでは、service tcp-keepalives を使用して、ハングした Telnet セッションをクリアする方法について説明します。

## はじめに

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。こ

のドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 背景説明

このトポロジでは、リモート ターミナル ユーザは、ルータ 2 の設定で `autocommand telnet` を使用してネットワーク上のサーバにアクセスできます。



ただし、ルータ 2 が何らかの理由で再ロードされた場合、ターミナルは、サーバに戻ることができなくなります。接続をアクティブにしようとする、「Connection refused by remote host」メッセージが表示されます。このメッセージは、サーバが以前の telnet セッションがまだ接続中であると認識し、新しいセッションをブロックするために表示されます。

この状況を解決するには、ネットワーク管理者が、ルータ 1 で `clear line` コマンドを実行します。ただし、この方法には、主に 2 つの欠点があります。

- ネットワーク管理者は、必要な場合にラインをクリアできないことがあります。
- セキュリティ上の理由から、`enable password` コマンドはユーザに提供されません。

解決策として、ルータ 2 との接続が何らかの理由で失われた場合、ルータ 1 で TTY ラインをクリアします。TCP キープアライブはこの問題を解決できます。TCP キープアライブを両方のルータで有効にし、一方のルータとの接続が失われた場合、もう一方のルータがこれを検知できるようにします。このようにしない場合、リブートまたはその他の接続切断が発生した場合に、もう一方のルータでこれを検出できません。TCP キープアライブは CLI で設定できません。キープアライブは、プログラミングによって変更できます。

ルータで TCP キープアライブをイネーブルにするには、次のコンフィギュレーション コマンドを使用します。

```
Router1# config term
Router1(config)# service tcp-keepalives-in
Router1(config)# service tcp-keepalives-out
Router1(config)# end
```

## 関連情報

- [アクセステクノロジーに関するサポート ページ](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)

このドキュメントは有用でしたか。 [はい いいえ](#)

フィードバックいただき、ありがとうございました。

[サポート ケースのオープン](#) ( [シスコ サービス契約< ts generic='1' nval='P%1,2%%'が必要ですか](#) )。

## Cisco サポート コミュニティ - 特集対話

[Cisco サポート コミュニティ](#)では、フォーラムに参加して情報交換することができます。

このドキュメントで使用されている表記法の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Updated: 2007 年 11 月 19 日

Document ID: 14957